

ごみの減量化に係る長野県の取組

問 建設課 環境係 ☎62-9114

海洋プラスチックごみは世界的な問題であり、野生生物による誤食やマイクロプラスチックによる生態系への影響が懸念されています。

私たちの住む長野県は海こそありませんが、日本海や太平洋に流れ込む河川を持つことから、プラスチックごみ対策は決して他人事ではありません。

そこで、長野県が推進している「信州プラスチックスマート運動」についてご紹介します。この運動には大きく3つの柱があります。

県民の皆様へ、**3つの意識した行動**を呼びかけています。

意識して「選択」

そのストロー、レジ袋は本当に必要ですか？
少し考えていられれば断りましょう。

少しずつ「転換」

使い捨てプラスチックから代替品へ。マイバッグ、マイボトル、詰め替え用製品などを使いましょう。

分別して「回収」

必要なプラスチックは使ってもいいんです。でも使い終わったら、ルールに従い分けて回収へ。

こうした取り組みを通じて、県民一人ひとりがプラスチックとの賢い付き合い方を実践し、ごみの減量化と環境保全を目指しています。

日常のちょっとした選択が、信州の自然を守る大きな一歩となります。

次回は、ごみの減量化について富士見町の取り組みを紹介します。

参考：長野県 HP 信州プラスチックスマート運動
(<https://www.pref.nagano.lg.jp/haikibut/kurashi/recycling/shigen/purasuma.html>)